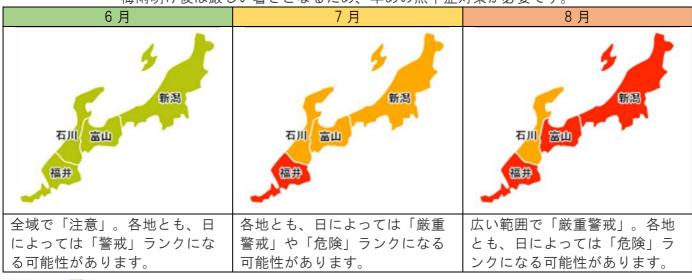
第 53 号 2022 年 7 月 1 日発行 安全適正就業委員会

2022 年度安全標語 オンとオフ切り替え上手で怪我も無し

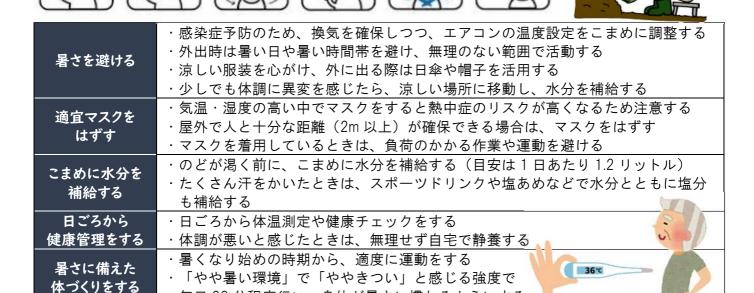
熱中症に気をつけよう

今年の夏も高温傾向 熱中症に気をつけましょう

7月から8月の気温は、平年並みか高い所が多いでしょう。 梅雨明け後は厳しい暑さとなるため、早めの熱中症対策が必要です。



熱中症は予防が大事!「3密」を避けながら、十分な対策をとりましょう 政府広報オンラインより https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201206/2.html 重症度 主な症状 めまい、失神、筋肉痛、筋肉の硬直(こむら返り)、 I 度 軽 現場での応急処置が可能 症 大量の発汗 頭痛、気分の不快、吐き気、おう吐、力が入らない Ⅱ度 中等症 病院への搬送が必要 身体がぐったりする(熱疲労、熱疲弊) 意識がなくなる、けいれん、歩けない、 Ⅲ度 重 入院・集中治療の必要 刺激への反応がおかしい、高体温(熱射病



毎日30分程度行い、身体が暑さに慣れるようにする

7月は安全適正就業月間

仕事中に危ない!と思ったことがありますか



ハインリッヒの法則とは→事故の発生についての経験則。1件の重大な事故の背後には重大事故に至らなかった29件の軽微な事故が隠れており、さらにその背後には事故寸前だった300件の異常、いわゆるヒヤリハット(ヒヤリとしたりハッとしたりする危険な状態)が隠れているというもの

大事故を未然に防ぐためには、日頃から不注意・不安全な行動による小さなミス、ヒヤリハットが 起きないようにすることがきわめて重要で、ヒヤリハットなどの情報をできるだけ早く把握し、的確 な対策を講じることが必要



状況	車を駐車するときに車止めの擬石に気付
	かず、車両の後ろドアと下側を損傷した
原因	あまり運転したことがない車両だった
	不慣れな場所だった
	人に注意が向いていた
	そこに障害物があると思わなかった
心理	不慣れな車両に、普段行かない場所で、
	心に余裕もなく緊張していた

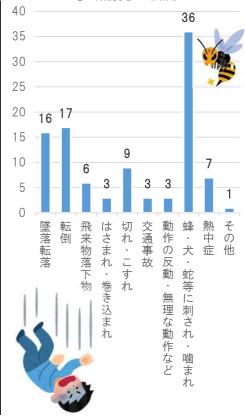
事故を防ぐには下見をする時間に余裕を持つしっかり周囲を見る声を出して確認する

心に余裕を

令和3年度石川県内センターの事故発生件数

							•
順	センター	会員数	請負		派遣	合計	発生率
位			傷害	賠責	が過	нп	ルエー
1	珠洲市	309	2	0	0	2	0.65%
2	穴水町	175	0	2	0	2	1.14%
3	加賀市	855	5	1	4	10	1.17%
4	中能登町	235	0	3	0	3	1.28%
5	白山市	997	5	4	4	13	1.30%
6	金沢市	1,891	8	13	4	25	1.32%
7	津幡町	367	4	1	0	5	1.36%
8	七尾市	1,017	8	5	1	14	1.38%
9	内灘町	193	0	3	0	3	1.55%
10	輪島市	357	3	3	0	6	1.68%
11	野々市市	336	2	3	2	7	2.08%
12	小松市	947	11	3	8	22	2.32%
13	羽咋市	256	4	3	0	7	2.73%
14	かほく市	280	4	1	3	8	2.86%
15	能美市	430	6	4	5	15	3.49%
16	宝達志水町	143	3	3	0	6	4.20%
17	能登町	305	10	3	1	14	4.59%
18	志賀町	246	12	8	1	21	8.54%
県内合計		9,339	87	63	33	183	

事故別発生状況





安全·適正就業強化月間

7月は安全適正就業月間です 会員の皆さん全員で事故の ない「安心・安全」のシルバー を作りましょう。 「力」のつく言葉を集めてみました。 体力、気力、活力、能力、筋力、腕力、脚力、視力・・・意外とたくさんあります ね。会員の平均年齢は74歳です。自信を もって「問題ない、大丈夫」と言えるよう に日頃から体調管理に努め、体調の悪い時 は無理せず休みましょう。